



家畜保健衛生所だより

R8.10.8

愛媛県大洲市で豚熱（CSF）が発生！

（国内 106 例目、県 2 例目）

10月7日、愛媛県大洲市の養豚農場においてCSFの患畜が確認されました。本県の飼養豚では、2024年の四国中央市以来2例目となります。なお、本県では県内で飼養されている全ての豚やイノシシを対象にCSFワクチン接種を行っていることから、本事例に関して制限区域は設定いたしません。

【発生農場の概要】

- ・ 農場所在地 愛媛県大洲市
- ・ 飼養頭数 約4000頭
- ・ 経緯 10月6日:農場において異状がみられるとの通報があったため、立ち入り、検査を実施。CSFの疑いが生じたため国※による精密検査を実施。
10月7日:患畜決定（精密検査陽性）。 ※農研機構動物衛生研究部門
防疫措置開始。

CSF ワクチン接種豚であっても、免疫付与の状況によっては、発症する可能性があります。特にワクチン未接種豚を飼養している離乳豚舎は、感染リスクが高まります。改めて飼養衛生管理基準を確認し、衛生対策の徹底をお願いいたします。

◎農場内・豚舎内への入退場時の消毒・更衣の徹底！

農場に出入りする車両の消毒、豚舎出入時の手指消毒、ならびに豚舎出入時の専用作業着・専用長靴への履き替えの徹底。

◎野生イノシシ対策用防護柵・防鳥ネットの点検！

野生イノシシでの感染拡大継続(県内 55 例、中予管内で 37 例の陽性確認)に伴う、農場周辺での CSF ウイルスの存在を強く意識した、防護柵や畜舎等の防鳥ネットの点検・補修・補完。

◎飼養豚に異状がないか、日々の健康観察をお願いします！

異状がみられた場合には、直ちに下記までご連絡ください。

中予家畜保健衛生所

電話 089-990-1333

携帯 090-6282-6129（夜間・休日）